

2006(平成 18)年 10 月 9 日

在アンゴラ国日本国大使館
特命全権大使 柴田 進 閣下

代表者:東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 5F
特定非営利活動法人 難民を助ける会
理事長 柳瀬 房子(吹浦 房子)
(代)アンゴラ事務所駐在代表 名取 郁子

日本NGO支援無償資金協力 事業完了報告書

平成 17 年 8 月 19 日付日本NGO支援無償資金協力贈与契約に基づく「アンゴラ共和国ルンダスル州における地雷回避教育事業」が、平成 18 年 8 月 18 日をもって完了いたしましたので、関係書類を添え、下記のとおり報告いたします。

記

1. 事業の実施期間： 平成 17 年 8 月 19 日 ~ 平成 18 年 8 月 18 日
2. 事業の実施成果(要約)：
 - (1) 成果

第 2 期目を迎えたアンゴラ地雷回避教育事業は、活動地域を 1 期目よりさらに奥地に拡大し、10,502 人に地雷回避教育を実施した。安全性と受益者一人一人への裨益効果を重視したため、計画時の目標 13,000 人には到達しなかったが、新規の教育受益者期については目標の 5,000 人を超え、9,960 人に達した。今期末に実施した教育後の事後調査では、事前調査に比べ地雷・不発弾に対する認識が改善し、地雷や不発弾を見つけた際の対処方法や地雷事故の防ぎ方については顕著な改善が見られた。

この 1 年で 237 件の地雷・不発弾が住民により発見・報告され、当会がマーキングを行った。このうち、192 件が提携する地雷除去団体によって爆破もしくは不活性化処理された。住民からの地雷・不発弾報告数は第 1 期目より多く、また報告された地雷・不発弾のうち、提携する地雷除去団体によって処理された地雷・不発弾の割合は 81%に達し、この割合もまた昨年より高い値となった。¹

1 期目に活動を行った地域のうち、特に地雷汚染の深刻な 27 村を対象に、今後住民自身が主体となって地雷対策を実施していくためのワークショップを 3 月に実施した。ワークショップに参加した村のうち、その後 14 村で地雷原・危険地域を示すコミュニティ地図などが住民の手によって作成された。

¹ 第 1 期に報告された地雷・不発弾は 214 件、うち 148 件が処理され、割合にして 69%であった。

(2) 自己評価

妥当性：ルンダスル州は地雷による汚染が深刻であるにも関わらず、当会が活動を開始するまで地雷回避教育が行われてこなかった。今期の地雷・不発弾報告数からも分かるように、住民の生活地域には地雷・不発弾が残存していた。これらの地雷・不発弾から住民を守り、地雷除去団体への地雷・不発弾の埋設情報を提供することによって地雷除去を促進していく当会の活動は十分な妥当性があったと思われる。

効率性：

地雷回避教育員 6 名と運転手 2 名で 10,502 人の住民に対して地雷回避教育を実施した。2 期目途中からは、1 チームは新規の活動地域にて教育を行い、もう 1 チームはこれまでに活動を行った地域でのフォローアップを行った。それぞれのチームが自主性をもち、自立発展的な活動を行うことが出来た。

有効性：

今年度もスタッフの安全と受益者の裨益効果を重視し、活動を実施した。人形劇や歌や太鼓など住民に受け入れられやすい手法を取った。また子ども向けのセッションなどターゲットグループのニーズを考慮した活動を実施した。

今期の活動は、1 期の活動評価を踏まえ、地雷や不発弾を発見した際の対処方法を教えることを重視し、教育内容の改善を行った。

インパクト：

住民による地雷・不発弾の埋設情報の提供は 237 件に達し、うち 192 件が爆破もしくは不活性化処理された。

自立発展性：1 期目同様、パートナーの現地 NGO CAPDC と連携して事業を進め、当会活動終了後を見据えた CAPDC スタッフの能力向上に努めた。また、政府や国際機関との連携にも努力し、協力関係を構築している。

(3) 今後の方針

当事業終了後、第 3 期の NGO 支援無償協力贈与契約を締結した。当会による同地での活動は 3 期目をもって終了することを予定しており、3 期目終了後は活動を CAPDC に引き継ぐことを予定している。

3 . 日本 NGO 支援無償資金精算額： US \$ 2 4 3 , 2 0 8
(契約額 (供与限度額) と同額)

4 . 会計報告 (事業資金収支表、資金使用明細書、支払証拠書写し) : 別紙のとおり

5 . 外部監査報告書提出予定日 : 平成 18 年 10 月 9 日

【添付書類】

会計報告関係：事業資金収支表、資金使用明細書、支払証拠書写し綴り
事業の成果（詳細報告書）
モニタリング報告書
活動実績表
住民参画に関するプレゼンテーションファイル
事業内容説明写真
業務日報（吉田克弥・堀越芳乃両名分）
監査報告書